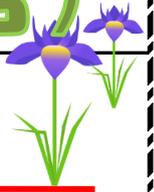


# 浜田林業部トピックス(5月号)



TOPICS 1

## 第18回いわみ中央乾椎茸品評会が開催されました

ほし

5月20日(木)に浜田市黒川町のJAしまねいわみ中央地区本部「ふれあいホール」において、第18回いわみ中央乾椎茸品評会が開催されました。この品評会は、浜田地域の乾椎茸の品質向上、規格の統一、生産意欲の向上等を目的に島根県農業協同組合いわみ中央地区本部の主催で毎年実施されています。

今年は、強い寒波による積雪があった一方で、気温の上昇が早かったことなどの気象的要因により、例年以上に栽培への苦勞が見て取れました。出品数は箱物(JA全農規格箱)7点、普通物(目安700g)30点であり、一昨年と比較すると箱物で2点の増加、普通物で1点の減少となりましたが、自然相手の厳しい作業条件の中、良品の乾椎茸が多く出品されました。

品評会前日に、当センターとJA等が傘の形状や大きさのそろい具合等をポイントに審査を行いました。結果、箱物の部では笹後 貞夫氏が最優秀賞に選ばれました。笹後氏の出品された「茶花どんこ」は、傘の巻きや形状、亀裂の色彩が均一な点が高く評価されました。普通物では奥本 一徳氏が最優秀賞に選ばれました。奥本氏が出品された「こうしん」は、大きさがそろっており、ひだの色目が特に均一な点が高く評価されました。

また、当日は毎年の恒例行事となっている乾椎茸の詰め放題が同時開催され、袋いっぱい椎茸を詰める光景が見られ大変賑わいました。



最優秀賞を受賞する笹後 貞夫さん(箱物)

最優秀賞を受賞する奥本 一徳さん(普通物)

詰め放題の様子